

# まちづくり協議会 NEWS



第 12 号

平成 27 年 6 月

[発行] JR 芦屋 駅 南 地 区 まちづくり 協 議 会



## 『第2回 JR 芦屋駅南地区まちづくり協議会総会』を開催しました！

### 総会では、議案が原案どおり承認されました。

5月23日（土）に上宮川文化センターにて「第2回 JR 芦屋駅南地区まちづくり協議会総会」（以下、「第2回総会」といいます。）を開催しました。

当日は、山中市長に来賓としてご出席をいただき、JR 芦屋駅南地区のまちづくりを進めていくにあたっての想いをお話しいただきました。

第2回総会では、平成 26 年度の活動及び収支決算について報告があり、承認されました。続いて、平成 27 年度の協議会役員・活動計画・予算案も原案どおり承認されました。（概要については、次ページに掲載しています。）



その後、意見交換が行われました。内容は、3ページに掲載しています。

### 山中市長のご挨拶



皆さんおはようございます。『まちづくり協議会』の総会おめでとうございます。第1回の総会から一年近くになりますが、皆さんには計画の進行と検討について何かとご協力をいただいていることにおきまして、心からお礼を申し上げたいと思います。

先の市長選挙では、この4年の間に起工式をするというマニフェストを掲げて当選しましたので、市民の皆さんにも一定の理解を頂けたと考えています。行政も一生懸命がんばりますので、地域の方のご協力も、お願い申し上げたいと思います。

今年度もスタートし、事業化に向けた検討も進んでいます。どうぞよろしくお願ひいたします。



# 第2回総会の概要

## ●平成 26 年度 活動報告（要約）

事 項	概 要
総会の開催	設立総会（H26.7.12）
役員会の開催	第 1 回～第 12 回 （計 12 回）
計画検討会の開催	第 1 回～第 14 回 （計 14 回）
現地見学会の開催	第 6 回計画検討会 （H26.10.25）
協議会ニュース発行	創刊号～第 9 号 （計 9 回）

## ●平成 27 年度 協議会役員（敬称略）

会 長	喜田 清左衛門
副会長	馬淵 陽介 森 百代
会 計	小材 天良
委 員	田中 肇 喜田 和子
監 事	大竹 吼一

## ●平成 26 年度 収支決算報告

### <収入の部>

費 目	決 算 額	摘 要
補 助 金	0	市からの補助金
雑 収 入	33	銀行利息等
繰 入 金	390,870	「JR 芦屋駅南地区まちづくり研究会」からの引継ぎ金
合 計	390,903	①

### <支出の部>

費 目	決 算 額	摘 要
会 議 費	0	
調査研究費	130,513	先進地視察等費用
広 報 費	90,216	協議会ニュース掲示板設置費用
通 信 費	42,600	会議案内、ニュース送付等
事 務 費	3,456	消耗品等
予 備 費	0	
合 計	266,785	②

・平成 26 年度残金 124,118 円（①-②）

・次年度繰越金 124,118 円

## ●平成 27 年度 活動計画

### 1) まちづくりに関する調査研究協議、計画立案活動

- ①JR 芦屋駅南地区にふさわしいまち並み誘導イメージの検討（魅力的でおしゃれなまち並みの誘導等）
- ②JR 芦屋駅南地区独自のルールづくりの検討（魅力的なまち並み誘導、環境マナーの誘導等）
- ③JR 芦屋駅南地区整備促進手法の検討
- ④その他、JR 芦屋駅南地区まちづくり研究に必要なこと

### 2) まちづくり協議会構成員等への広報・啓発・研修活動

- ①まちづくり協議会ニュース等の広報紙の発行
- ②まちづくりに関する説明会、勉強会、懇話会、先進地視察等の実施
- ③その他、協議会構成員等への広報・啓発・研修活動に必要なこと

### 3) まちづくり協議会の協議の運営活動等

- ①役員会、総会等の開催
- ②行政との協議、調整（要望書・提案書の提出を含む）
- ③関係機関、各種団体等との協議、調整
- ④まちづくりに関する勉強会の運営・開催
- ⑤その他、まちづくり協議会の協議、運営に必要なこと

## ●平成 27 年度 活動予算

### <収入の部>

費 目	予 算 額	摘 要
補 助 金	400,000	市からの補助金
雑 収 入	1	銀行利息等
繰 越 金	124,118	平成 26 年度からの繰越金
合 計	524,119	

### <支出の部>

費 目	予 算 額	摘 要
会 議 費	50,000	総会、役員会等開催費用
調査研究費	300,000	資料作成、講演会、先進地視察等費用
広 報 費	100,000	まちづくり協議会ニュース発行等
通 信 費	50,000	会議案内、ニュース送付等
事 務 費	24,119	消耗品等
予 備 費	0	
合 計	524,119	



## 第2回総会での意見交換

【参加者】「計画検討会」、「勉強会」、「協議会」、「総会」など、会の名称がいろいろあって、ややこしいので整理してほしい。

【参加者】各会合の対象者や主催は誰になるのか。また、「何人の参加があれば総会が成立する」などは決めているのか。明記したものはあるのか。

【会 長】会議の成立や議案の採決の要件は、協議会設立当時から特に定めていない。まちづくりに関して影響を受ける者、興味がある者が集まり議論する場としているためである。

【参加者】会合の進め方については、市やコンサルの主導ではなく、今後は、住民からもっと違う案が出せるような工夫をしてほしい。



## 第17回計画検討会の概要

第2回総会終了後、引き続き、第17回計画検討会を開催し、「平成27年度スケジュール（案）」及び「駅前広場におけるロータリー型と通過型の比較検討」について事務局から説明のうえ、意見交換を行いました。駅前広場については、これまで参加者から質問の多かった「ロータリー型」と「通過型」との違いに着目し、以下の3案の比較検討を行いました。

(○メリット ●デメリット)

A案 (ロータリー型+東西道路あり)	B案 (ロータリー型+東西道路なし)	X案 (通過型)
駅前広場と東西道路面積の合計 約5,700㎡	駅前広場面積 約4,600㎡	駅前広場面積 約4,800㎡
● 東西道路まで含めると規模が大きくなる	○ X案とほぼ同規模	○ B案とほぼ同規模
○ 円滑な乗り継ぎが可能	○ 円滑な乗り継ぎが可能	● 円滑な乗り継ぎが困難
○ 通過交通が生じない	○ 通過交通が生じない	● 出入り口が2箇所なので通過交通が生じ、安全面で課題
○ 全ての車両が転回でき、利便性が向上	○ 全ての車両が転回でき、利便性が向上	● バスは転回できないため、一方向の通行に限定
● 東西道路によって駅と建物街区が分断	● ロングライフ前の区画道路や国道2号の負荷について、検証が必要	● 東西道路によって駅と建物街区が分断
● JRとの協議が必要	○ 駅と建物街区が連続する	● JR、警察との協議が相当困難
	● JR、バスとの協議が必要	



## 第17回計画検討会での意見交換

### ●駅前広場について

【参加者】前回まで検討していた、駅前広場と建物の立体的な配置についても検討してほしい。

【コンサルタント】立体的な配置は、地元にも負担が生じるなどの課題が多い。

【参加者】全国の失敗している事例についても研究し、検討してほしい。

【参加者】外国のように「ラウンドアバウト」のような形にできないか。

【参加者】B案〔ロータリー型＋東西道路なし〕の場合、周辺への交通負担はどの程度になるのか。検証してほしい。

【参加者】ロータリー型の場合、歩行者が迂回するような形となってしまうのでは。

【事務局】安全面を考慮するとそのような形となる。なお、解消策として、駅からの動線については、歩行者デッキなどの設置を検討していく。

【参加者】容積率や南側の区画道路のとり方についても検討していただきたい。

【事務局】今後のバリエーションの中で検討していく。今回の3案は、駅前広場のかたちについてロータリー型と通過型を比較検討したものである。

### ●JR西日本との協議について

【参加者】JR側の敷地を大きく確保すれば、住民側（南側）への影響も少なくなると思う。

【事務局】JR西日本とは昨日協議を行ったが、現在、この場で検討している案については、了解が得られていない。なお、駅前広場のかたちを地元と一緒に検討している旨を伝えた。

【事務局】JR西日本から具体的な案の提示はいただいているが、「JRの所有地は自社で活用する。」との考えである。継続した話し合いが必要と考える。

### ◆今後の予定◆

地元住民打合せ会：平成27年6月 6日（土）午前10時00分より

第18回計画検討会：平成27年6月13日（土）午前10時00分より

場所：いずれも上宮川文化センター 3階 大会議室

#### ■お問い合わせ先

JR芦屋駅南地区まちづくり協議会  
(事務局)〒659-8501 芦屋市精道町7-6  
芦屋市都市建設部都市整備課  
☎ 0797-38-2074  
FAX 0797-38-7974  
HP:<http://www.city.ashiya.lg.jp/gairo/jrashiyasouth.html>

JR芦屋駅南地区のまちづくり  
についてご紹介しています!

JR芦屋駅南地区

検索